

## パスター大倉の牧師室から

### 2016年 イスラエル紀行(8)



「わたしはよみがえってから、あなたがたより先にガリラヤへ行くであろう」 マルコ14章28節

五年ぶりにガリラヤ湖に行きました。その湖畔の風景に変わりはな

く、きっと2000年前のイエス様の時代であっても、同じなんだろうなと思わされます。前回は一人静かにこの湖畔にたたずみましたが、この度は主にある兄弟姉妹とここに来ることができたという幸いを噛みしめました。それはまさしくイエス様が一人ではなく、弟子達と共にこの場所で過ごした日々を思い起こさせるような時となりました。

ここにいたるまで私達はネゲブ砂漠、死海、マサダなど乾いた土地を巡ってきました。しかし、転じてガリラヤには豊富な水があり、辺りは緑の草で囲まれています。そんなガリラヤ湖畔に立つ時にあらためて思い起こされたことはイエスが弟子達(ペテロ)になぜ『わたしはよみがえってから、あなたがたより先にガリラヤへ行くであろう』(マルコ14:28)と言われたのかということでした。

翌朝、陽がのぼる前に湖畔に行ってみました。イエス様が十字架にかけられた後、弟子達はイエス様の言葉に従い、ここに来て一晩中、漁をしていました。しかしながらその夜は何の収穫もない夜で、その時の彼らの徒労感に心を重ね合わせながら、その時に主イエスが火をおこし、魚を焼いて弟子達の帰りを待っていてくださった、その姿を想像してみました。三度、主を否んだペテロがその主の前に座っている姿を、その彼の気持ちを考えて、イエス様の一つ一つの言葉を思い巡らしてみました。

その間にも陽が昇り始め、ガリラヤ湖は刻一刻と色を変えていきます。静寂に包まれていた場所に鳥達のさえずりが聞こえはじめ、時折、空腹の魚が湖面を揺らし、それまでは肌寒さを感じていたのですが、太陽のぬくもりが伝わってきました。そうです、その一帯は神の愛と恵み、そして命で満ちているように感じました。きっとペテロもその時、主の温もりと心の中からわきあがる新しい命の躍動を感じていたに違いありません。

そこはかつてイエス様に声をかけられイエス様に従って行った場所であり、イエス様と共に伝道した宣教地であり、「野の花をござん、空の鳥をござん」という優しい言葉を聞いた場所。イエス様はその原点に弟子達を返らせ、そのところから新しい扉を彼らのために開いてくださったのです。私達にもいつもこのイエス様との出会いが備えられているのです。

## お知らせ

■10月25日から27日まで教団の五人の牧師が当教会に集まり、修養会委員会をもち、来年の修養会のために祈り、備えることができました。来年の修養会はハワイから関真二先生を聖会講師、またシカゴから中村佐知姉をセミナー講師として呼びます。7月4日(火)から7日(金)までです。今から予定に入れましょう。

■11月12日(土)、午後1時から3時まで当教会にて「スタンド”ウーマンズ・ミニリト」が持たれます。この機会に他教会の姉方とのお交わりをもちましょう。

■11月13日(日)はユースがカレーの準備とサーブをさせていただき、一月にもたれるウインター・ビジョンのためのファンドレイズとさせていただきます。一人でも多くの若者がウインター・ビジョンに参加できますようにご協力をよろしくお願い致します。

■11月23日(水)、午後七時より恒例のサンクスギビングサービスがもたれ、主への感謝と共にパンプキンパイを楽しみます。

■11月24日(木)、ボウト宅にてサンクスギビング、ポットラックディナーを楽しみます。どなたもどうぞ。事前にボウト姉に「出席すること」と「持ち寄れる食べ物について」伝えてください。当日は四時過ぎから集まり五時辺りから夕食を始めましょう(準備を手伝える方はその旨もお伝えください)。

■11月27日(日)、礼拝後に礼拝奉仕者(司会者、奏楽者、賛美チーム、グリーター、アッシャー)のミーティングをもちますので今から予定に入れておいてください。

■今年のクリスマスプログラムは12月11日(日)を予定しています。この日を目指して子供達のスキットの練習、またフラの練習も始まっています。その日は午前10時より日英合同の礼拝がもたれ、その後、ポットラックのランチがもたれます。

■今年のキャンドルライトサービスは12月16日(金)、午後7時からもたれます。キャンドルの灯と共に主の御降誕を喜びましょう。

■12月26日(月)ー1月1日(日)まで「Rise & Go: イエスの勝利の御名によって」というテーマでマリエタにてイクイパーカンファレンスがもたれます。大倉牧師もセミナー講師として部分参加します。<http://equipper.org/>

◆今年も12月31日(土)に年末感謝祈禱会をもちます。今年も恒例のうどんとそばを楽しみましょう!

■2017年1月6日(金)、7日(土)に昨年と同じと同じ場所(Fullerton)で新年聖会がもたれます。今年のテーマは「こおんな生き方あったのか!」(主題聖句は「あなたは祝福の基となるであろう」(創世記12章2節)で、溝口俊治師、杉村宰師、井下泰文師が聖会メッセージを取り次ぎ、大川道雄師が早天を導いてくださいます。新しい年、まず主と向き合いましょ!

■私達の教会の今年の標語は「友情を育む」です。そこで教会ではカップヌードルをお分けするようになりました。あの人の話を聞きたい、聞いてほしい、祈り合いたい、学び合いたい等、簡単なランチと共にお友達との時間のためにお用いください。